

『未来の君』 作：ポチ子

『未来の君』 作：ポチ子

君に会ったら、何を言おうか考えてた。

足も遅いままだし、

勉強もしないから馬鹿だし、

友達も少ないし、

よく仲間外れにされてたし、

毎日胃が痛くて、辛かった。

顔もブスだって自覚して、

鏡を見るのも嫌になって。

歌も、下手じゃないけどうまくもない。

全部中途半端な大人になるって、

君に言いたかった。

吐き出せば、楽になれると思って。

でもね、君に会って思ったんだ。

私は、君を好きでいようって。

誰にも好かれないけど、

自分は君を好きでいようって。

未来で、

君がどんなに自分を嫌いになっても、

そんな君を私は好きでいてあげる。

『未来の君』 作：ポチ子

だから、君も好きでいてくれない？

私のこと。

— 終わり —